

松

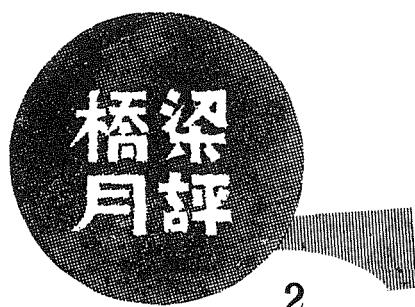
江

大

橋



## 或　　る　　會　　話



H 何うだい此の橋は、君の頑張つてゐる月評の題材にはならないかね。

M 松江大橋……と、之れは設計圖の時見せて貰つた事がある。もう出来たのか、なかなか好い橋になつたね。

H 此の鉄桁にバラレル・コードを採用した所なんか、なかなか聰明な設計だと思ふが。



M 賛成。君のかねがねの御高説だつたな。  
しかし實際これは好い。こう云ふ風に徑間  
が澤山並んでゐるとき等には特に好いと思  
ふ。上部の日本式の勾欄ともシックリ調和  
してゐる。なかなか傑作だ。

H 京都の、改築された御園橋がたしか此の  
形でやつてゐたと思ふが、鴨川の橋等には  
打つてつけの型式だよ。それはそれとし  
て、何か意匠方面に御批判を賜り度いもの  
だな。

M そうだな。こう見た所勾欄の詳細も整つ  
てゐるし、中央の張り出しなんかも好い思  
ひつきだし、一番難しい擬寶珠も一つの主

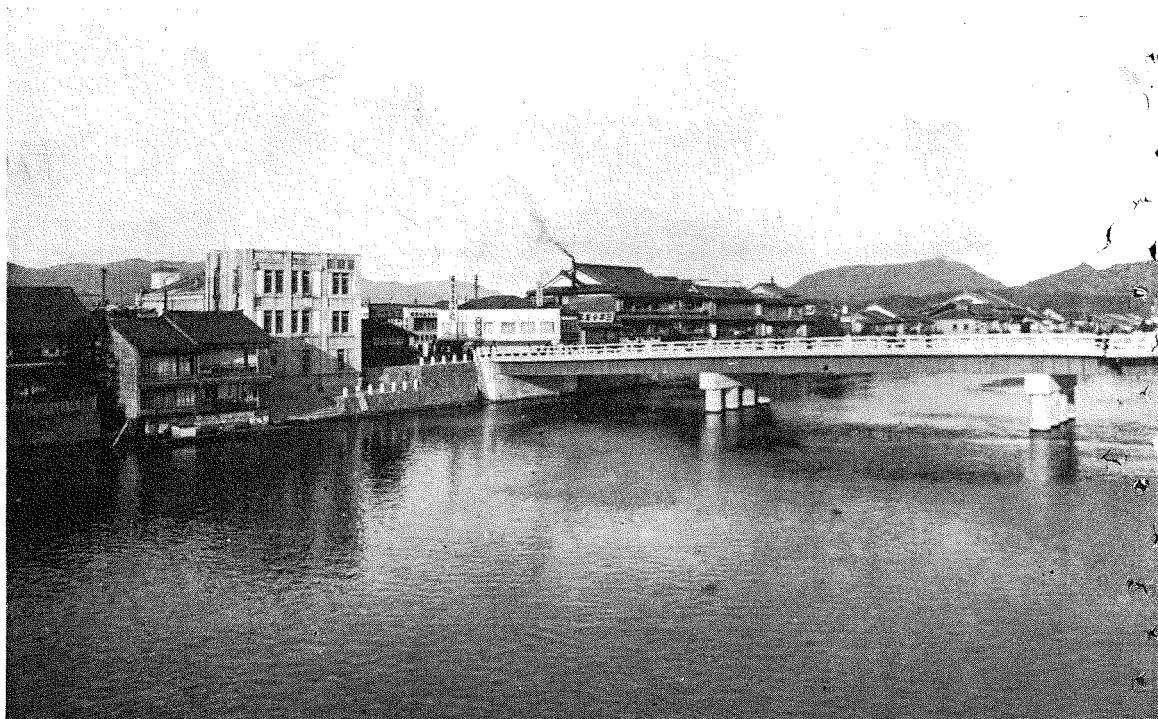
張を持つてゐるらしいし……。

H 主張と云ふと？

M 擬寶珠つてやつは實にむづかしいもの  
で、古い型式のは如何にも安定で實に美し  
いのだが、此んな潤い所に持つて來ると少  
しじミになり過ぎる。そうかと云つて江戸  
時代のは餘りにグロテスクだし、その點之  
れなんか丁度その中間を行くものとして、  
よく考へられてゐると思ふ。

H 此の照明燈が氣になるが。第一建て込み  
の位置が面白くない。そうして足下が餘り  
無愛憎すぎて危つかしい。

M 確にその感がある。何んだかもう面倒臭



くなつて放り出したと云ふ氣がするネ。

H もう少し悪口を云へヨ。

M 實は先つきから對岸の風致と對照して考へてゐたのだが、單に日本風の感じを強くすると云ふ意味で無思慮に擬寶珠勾欄を持つて來るのは一寸考へものだナ。やはり此んな他所行きの意匠は神社やお城を背景にして始めて引き立つもので一般の所では少々大げさ過ぎる嫌ひがあるやうだ。此の事は前に嵐山で渡月橋が改築されたとき、僕はテツキリ擬寶珠をつけるものと思ひ込んでゐたら、何んとマア、アツサリと木造で笠木と貫だけの勾欄をつけてしまつたのだ

所が又之れが實にスッキリと上品に周圍と調和して申し分のない上出来。確か故武田博士の指導でやつたのだとと思ふが、さすがと感心させられたわけだ。もつとも餘りにジミ一方でやられては僕の仕事がなくなつてしまふがね。

H そう云へば此の橋脚の取り扱ひ方も少々コダワリ過ぎた憾がある。勾欄を純日本風にしたからと云つて、何も下部構造のイミテーションをやる必要は少しもない。やはりもつと平凡に、近代的構造にして置いて貰ひ度かつた。

M 確にその感がある。橋脚横桁の断面なん



かべラボウに大きすぎて全く目障りだ。

### 松江大橋改築工事概要

**路線名** 府県道松江廣島線  
**工事箇所** 松江市白湯本町・末次本町入會  
**施行者** 島根縣・請負者矢野彌次郎  
**起工** 昭和10年12月  
**竣工** 昭和12年10月  
**橋備** ゲルバー式鉄鋼桁橋  
**延長** 全橋長 134米 (支間 25.65米 27米30米  
              27米24.65米)  
**有效幅員** 車道6.5米歩道2.25米、全幅員12米(實用面積1,474平方米)  
**橋臺** 杭打基礎上に扶壁式鉄筋コンクリート

**橋脚** 造2基  
              井筒基礎上に鉄筋コンクリート柱4本  
              延橋脚4基  
**橋面** 鉄筋コンクリート床版上にアスファルト。アロック鋪装をなす  
**高欄** 花崗岩造り擬寶珠高欄、中央徑間の兩側に長20米幅1.4米の展望設備あり。  
**取付道路** 左岸末次本町側延長43米幅員12米  
              右岸白湯本町側延長42米幅員12米  
**主要材料** 鋼材581.5噸、鐵筋165.8噸、石材79.49粒、セメント20,087袋、砂利2,479.7粒  
**工事費** 砂2,551.8粒、  
              360,000圓 (上部構造124,473圓、下部構造96,762圓、高欄27,129圓)